



# 世界一の いも掘りまつり

晴天に恵まれた10月4日(土)。約670人が参加した「世界一のいも掘りまつり」の様をお伝えします。

—自分の腕より太いさつまいもを一生懸命持ち上げ、満面の笑みを浮かべる子どもたち—

10月4日(土)、上富の三富新田で世界一のいも掘りまつりが行われました。長い長い畝に集まった参加者は約670人。

心地よい風。その風が運んでくる土の香り。その香りは先人が届けてくれた素敵な香り。先人が残した循環型農法。そして三富新田の歴史を肌で感じながら、参加者はいも掘りを楽しみました。

多くの家族連れ、特に小さな子どもが参加者が多くみられました。とつても大きないもも一生懸命に持ち上げる子どもたち。さつまいもの一部には当たりくじが隠されていて、発見すると「やった!」と歓声があがります。

三富新田の散策といも掘りでべこべこになった参加者のおなか。そのおなかを上富小学校の食ブースのおいしい食べ物で満たしてくれます。味良しの味力がギュッと詰まった食ブース。獲れたての新鮮野菜、ブース全体を香りで引き立てる出店。完売のお店が出るなど、こちらも大盛況でした。

お昼頃には東北出身者で結成されたグラスバンドによるライブコンサートも開催。食事をしながら、贅沢に一流の音楽を楽しんでいる参加者が多く見られました。

—三芳町のこと—  
もつともつと好きになる—  
三芳町が誇る三富新田、そしておいしい野菜。参加した皆さんはこのまつりを通じて三芳町に「恋」をしてしまったかもしれません。

